

公開期間

令和3年
1月22日金
~2月12日金

受講対象
高校生~

受講生募集!

令和2年度 茨城エコ・カレッジ
(体験コース)

環境問題についての興味を持ち、環境保全活動を進んで実践するリーダーを養成するため、
茨城エコ・カレッジを開講します。

地球・地域、そして生活空間規模の問題やこれらに対する適応策等について、
大学教員による講義を通じて楽しく学びましょう。

開催方法

オンデマンド配信(ご自宅等で受講いただけます。)

■定 員：100名(先着順) **受講費無料**

■受講資格：茨城県内に在住、
又は通勤・通学している高校生以上の方

■申 込：茨城大学リカレント教育プログラム・公開講座
ホームページ内、専用フォーム(専門コース)
よりお申込みください。
(<http://koukai.scc.ibaraki.ac.jp/>)

■応募締切：令和3年1月15日(金)

■主 催：茨城県・茨城大学

■問合せ先：茨城大学社会連携センター
(029-228-8413)



~注意事項~

※すべての講義がオンライン配信となります。
動画を視聴可能なパソコン等が必要となりますので、ご注意ください。

※申し込み後、動画視聴ページにアクセスするためのパスワードをお送りいたします。パスワードがないと講義が受講できませんので、茨城大学社会連携センターからのメールは受信できるよう設定をお願いします。

※パソコン等で一部対応していない機種・OS等がございます。機器の問題等で受講できなかった場合は、本センターでは一切責任を負うことができませんので、ご了承ください。

令和2年度茨城エコ・カレッジ(体験コース) カリキュラム

受講条件：事前申込のあった方のみ受講可能となります。(オンラインでの配信となるため、インターネット環境が必要です。)

申込方法については、リカレント教育プログラム専門コースホームページ(http://koukai.scc.ibaraki.ac.jp/professional_courses)をご確認ください。

申し込み期日までに必ず申し込みを行ってください。(締切後のお申込みはお受けできません。)

修了要件：以下の①かつ②の要件を満たした受講者には、茨城県知事及び茨城大学長連名の令和2年度茨城エコ・カレッジ(体験コース)修了証を交付します。

令和2年度茨城エコ・カレッジ(体験コース)を修了した受講者は、「茨城県地球温暖化防止活動推進員」に申し込むことができる資格が得られます。

「茨城県地球温暖化防止活動推進員」の詳細については、茨城県ホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/chikyu/ondanka-suishin.html>)をご覧ください。

①講義No.2～7のすべての講義を受講する必要があります。

②各講義受講後にレポート等を提出する必要があります。

【講義】動画公開期間 令和3年1月22日(金)～2月12日(金)

No	動画時間	講義名	講師 (茨城大学教員)	SDGs分野(近い分野順)
1	約20分	令和2年度茨城エコ・カレッジの紹介と学び方(総論)	藤田 昌史	6. 水・衛生, 11. 都市, 15. 陸上資源, 5. ジェンダー
2	約60分	環境NPO・NGOの可能性 ～市民が守り、市民が創る環境～	原口 弥生	17. 実施手段, 6. 水・衛生, 13. 気候変動
3	約60分	霞ヶ浦に生息する生物群集の長期変化とそれらの理由について	中里 亮治	15. 陸上資源
4	約60分	地球における水と元素の循環	伊藤 孝	6. 水・衛生, 13. 気候変動, 14. 海洋資源, 15. 陸上資源
5	約60分	気候変動と災害 ～環境と防災・減災技術の両立を目指して～	小林 薫	13. 気候変動, 15. 陸上資源, 11. 都市
6	約60分	農耕地土壌における施肥由来窒素の動態と施肥量の削減	浅木 直美	13. 気候変動, 2. 飢餓
7	約60分	21世紀の地球環境を考える	三村 信男	13. 気候変動, 11. 都市, 9. イノベーション, 4. 教育

※SDGsの分野について(以下の17分野があります。)

SDGsとは...

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

(※外務省パンフレット「持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取組」より抜粋)

